

オーストラリアで感じたこと

名古屋市立菊里高等学校 1年 齊藤 真帆

1. 私の研修の目的

私は、長い間外国の学校について興味を持っていました。五年間アメリカに住んでいて、日本に帰国した時に互いの学校の雰囲気は全く違って、とても驚いたことを今でも覚えています。それで、この海外派遣で、オーストラリアの学校について自分の学校との違いを体験し、発見したいと思いました。さらに、実際に行ってみなければわからないその国独特の文化や言葉の言い回しなども聞き、身につけたいと思いました。

2. 事前の準備

私は各高校でのバディとの会話を楽しみにしていたので、ポートフォリオについてたくさん話せるように事前に名古屋の名物やオーストラリアの自然についてなどを調べて行きました。さらに洋書を読み、英語に触れる機会を増やしました。

3. シドニーでの体験

初日は空港からバスに乗って移動しました。バスで見た風景、看板はすべて日本の物とは違って、オーストラリアに着いたんだ、という実感がわきました。近くで見たオペラハウスはとても美しく感動しました。

次の日に向かったのは Cherrybrook Technology High School でした。そこでは3日間体験入学をしました。そこで最初に受けたのは日本語の授業でした。日本語の授業で思ったことは、実際に生徒が習った言葉でたくさんの会話練習をしているということです。さらにそのクラスの生徒は皆、発言をするのに躊躇がなく、間違っても笑って次は頑張ると言っていました。その姿勢を私は尊敬します。

その後は、農場を営む家族にホームステイに行きました。そこは、ジャンパローと言う町で、野生のカンガルーさえ目撃できるような自然豊かなところでした。そこで私たちはオーストラリアの普段の食生活や家庭のマナーなどを学びました。ホストペアレンツは二人とも優しく親切な人で、私たちがそ

こでの時間を楽しめるようにウォーキングや乗馬など、様々な事を企画してくださいました。

その後は、St Aloysius' College に行きました。ここは、講堂があり、ステンドグラスやパイプオルガンが美しかったです。

その後、シドニー市役所表敬訪問、Wenona High School 体験入学、タロンガ動物園視察など、この派遣ならではの経験をさせていただきました。

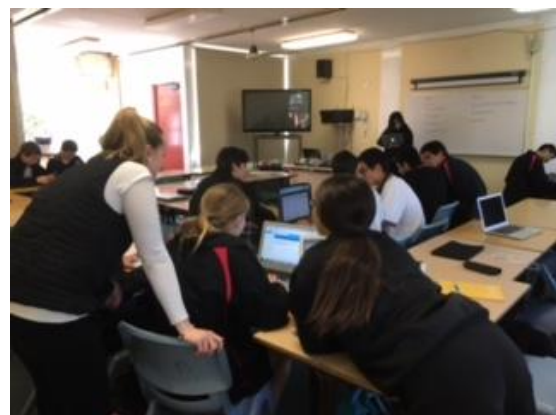
3. 研修の結果と今後の課題

<成果>

研修で自分が得たと思うことはたくさんあります。そのうちのひとつは積極性です。オーストラリアでは意見を言ったり話しかけたりしなければ貴重な体験はできないと思っていたので初日から思い切ってたくさんの人に話しかけてみました。実際に行動に移してみればそれほど難しい事ではなかったので、次の日からも意見を言い合ったり互いの学校や国について話し合ったりすることができました。各高校で連絡先を交換し、今でも連絡を取っていることも自分の成果だと思います。

<課題>

私は自分の将来のためにも英語に触れ続け、コミュニケーションのための道具として英語を使っていきたいです。グローバル化の進んでいる今、英語が理解できる、得意であるということは必要不可欠になってくると思うので、自分の英語力を磨いていきたいです。



Cherrybrook Technology High School にて